

附属機関等の名称 会議概要

- 1 審議会名 第7回交流学习センター施設検討委員会
- 2 日 時 平成18年5月29日 午後7時～午後9時30分
- 3 会 場 明科子どもと大人の交流学习施設ひまわり
- 4 出席者 益子委員長、草深副委員長、丸山委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、山田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、赤沼委員、三枝委員、松田委員、細川委員(まちづくり推進課長)、松枝委員(社会教育課長)
- 5 市側出席者 望月教員長、小林次長、曽根原文化振興係長、財津文化振興係主査、丸山豊科教育課生涯学習係長、下里穂高教育課生涯学習係主査、那須野三郷教育課生涯学習係長、小穴児童保育課児童係長
- 6 会議概要作成年月日 平成18年6月9日

1. 会議の概要

「ひまわり」の施設内視察

安曇野市における図書館施設整備についての協議

2. 協議

・前回皆様のご了承を頂きました図書館の本館、これは新館建設ということでご了承を頂いた。また分館につきましてはこれから議論・検討を頂く。

・本日はその分館の内容、移動図書館の問題を重点的に話し合ってもらいたい。個人の意見は尊重し、発言時間は守って頂き、ご論議を頂きたい。

【ひまわり視察後】

- ・ 素晴らしく使い勝手がよろしいんですが、不都合に感じる所は？
- ・ 言い出したらきりはないんですが、致命的なものは無かったと思っている。
- ・ 気軽に足を運べる、場所的にも機能的にも良いと思う。
- ・ 大変素晴らしい施設。プロポーザルなどいろいろ経過があったと思うが、この部分は画期的なものだというのがあったら教えて頂きたい。
- ・ 検討委員会、建設委員会、2段階の委員会の組織を編成した。いろいろな方がたまり場になって欲しいと、それは実現できたのではないかと思う。官が動くのではなくて市民のみなさんの自由な施設になって良かった。
- ・ 建設するだけでなく、その後が大事。ボランティアやサポーターの皆さんが素晴らしい運営をしてくれているので、そこも素晴らしい。
- ・ 利用はしやすくてとてもいい所だと思うが、利用料金は。(例：ヨガ教室は受講料含めて1時間1000円。利用料金が低い。)
- ・ ここは学習施設といっている。以前明科に家政学校(県が融資する公立の家政学校)というものがありませんでした。その良さを引き継ぐ施設にしようという事で、ここは公設のカルチャースクールと思ってほしい。私も先生に部屋を貸し、使用料を頂く。このシステムは公民館とは違う。
- ・ もし穂高や豊科に同様の施設ができたならば、使用料は平均共通化になるか。
- ・ これは公民館の関係になってくる。こういった施設は地域性があると思う。穂高にはゆうゆうさんがあるので競合してもいい。それは今後じっくり検討していきたい。
- ・ 低い所に水が溜まるような表現が合ういい建物だと思う。面積も有効に使っていると思う。円形の建物

そのものが気持ちを和ませて良い。

- ・ 先程、2階の図書館について話があったが三郷もそう。実際の利用状況で何かあれば教えて頂きたい。
- ・ 図書館を使う方にはいろんな思考がある。ワンフロアが見渡せないが、自分ひとりのゆっくりとした時間を過ごすには良い施設になったのではないかなと思う。
- ・ ユニバーサルデザインがところどころにちりばめられていてとてもいいと思う。2点お聞きしたいが、今後土足で入る事を予定しているのか、という事が一点。それと障害を持った人がどのくらい利用しているのかというのをお聞きしたい。
- ・ 将来的には土足になることもあると思う。今はもったいないという市民の意見を尊重している。1ヶ月に1回、身障者のお花の講座を開いています。また長寿会の皆さんが使っている。特別に障害者の方が使っていただくことはない。個人的にはある。
- ・ 不便な所の自覚や指摘はないか。
- ・ 靴を脱ぐ時縁台があると楽だという意見があった。トイレについては使いやすいと言って頂いた。

【移動図書館について】

資料説明（第6回配布資料）

- ・ 移動図書館の見直し案。使う人達は限られている（高齢者・子育て中の親子）代替となる新しいサービスを提供する方向で考えている。問題は固定客（ファン）の人達、これを楽しみにしている人達に、どうやって理解してもらうかというのが問題。近い将来、廃止していく方向で考えている。
- ・ 代替案までご説明頂いたが、高齢者・子育て中の人達を重点的に考え、何か案がありましたらご意見を聞かせて頂きたいと思う。
- ・ 見直し案は、活用度・利用度が低いからというのが理由か？
- ・ そういうこと。予算を投下するにしても別な方法で出来ればと思う。
- ・ 移動図書館が廃止されるのはやむを得ない気がする。あと10年（ファンの高齢者が一区切りつくまで）位は対応しなければならない。3ヶ月にいったんにして、継続したほうがいい。切るというのは人間味に欠けるのでは。
- ・ 移動図書館は廃止でいいと思う。どんな本を借りたか、ということは非常にプライベートなこと。人に見られるのは嫌なものだと思うので、本を届けてもらう場合、中身が見えないようにした方がいいと思う。
- ・ その辺をもう少し内部できちんと対応できるよう努力して、移動図書館に替わる案をご理解頂きたいと思う。
- ・ 移動図書館の廃止は概ねやむを得ないが、対応や代案は慎重にしっかりと考えて欲しい、ということによってよろしいでしょうか。よいという方は挙手を。

【委員全員、挙手】

- ・ ありがとうございます。では、図書館の内容に戻らせて頂きます。
- ・ 子育て支援機能に関する私案を提出した。親子優待デーもしくは時間を設けて、図書館に親しんでもらいたいと思う。小さな子供と母親が図書館を利用する時は他の利用者に大変気をつかわなければならない。優先日（時間）があると気兼ねなく利用できると思う。
- ・ 親子優待デーは大変いい案だと思う。こういう日はバスを市内で巡回するとか。
- ・ 専門的な本をゆっくりと読む場でありたいので、分館と中央の役割をわける必要があると思う。親子優待デーというのはいいと思うが、私のような熟年者のもつ図書館のイメージとはちょっと違う。中央館と分館と分けて考える必要があると思う。
- ・ ある友人から、図書館は子供に静かにすべき所だと教える場でもあると言われた事があるが、現実には大変。（親が大変）このひまわりは1階と2階に分かれているが、私はそういう見解から敢えて分けたのかと思った。ひまわりは使いやすいと思う。高齢者デーも作って欲しい。
- ・ 私は三郷の小倉に住んでいるが、移動図書館を利用しているお年寄りの顔が目につく。廃止も仕方ないと思うが、今日は図書館に行く車が来ますよ、っていうのがあったと嬉しいと思う。
- ・ こういった委員会に出た要望をお願いすることは可能。しかし皆さんが思ったとおりにはいかないけれど

も、何とかなと思う。

- ・ 図書館にはいろいろな利用の仕方がある、棲み分けをしていくということ、ひまわりは中央の空間が騒音を遮断していいと思う。ひまわりは飲食禁止ではなく積極的にコーナーを設け生活する・滞在する事をしているのもいい。
- ・ 分館はいろいろな機能を持った複合施設でということによいか。
- ・ 親子デーを設けるのは今後大事だと思う。ブックスタートなどこういう内容は是非やっていただけたら有り難い。複合施設で利用の相乗効果を期待するのもいいと思う。
- ・ 松本の図書館の雑誌コーナーは、男性の方の利用が多い。子育て中の親子・熟年層以外の利用も考えた方がいいと思う。
- ・ 母親文庫で配本された本は思いがけない本が届いて良かった。配本に係わって友達もできた。子供が親に本を届けるのをとても喜んでた。こんなようなことで、いくらかシステムを変えて本を配本することも考えていいのでは。
- ・ 図書館に交流センター（安曇野を外から視察したい人達に対応する場所）など、付加する機能をもっと考えると広がりが出てよいと思う。
- ・ 本日の子育て支援機能から一般男性の意見まで、より機能的に使いやすい施設にしていく、これからの議論をそこに集約していきたいと思う。

ご賛同頂ける方は挙手をお願いします。

【委員全員、挙手】

ありがとうございました。

- ・ 本日は図書館に加えて、様々な複合的な機能をもった施設にしていこうという事で、議論をまとめさせて頂いた。
- ・ 本日中嶋委員から交流学习センターの交通アクセス及びバリアフリーについての資料を頂いていた。
- ・ 中嶋先生、申し訳ありませんが、次回でよいか。
- ・

次回、6月14日、三郷か堀金で事務局で決めて後日通知。